

大会名 ① 開催地 ② 会場名 ③ 試合番号 ④ 開催日 2010年 ⑥ 月 日 試合設定時刻 13:00 ⑦

男子 ⑤ 女子 ⑧ 対戦力 AorB 白ジュニア ⑧ 対 赤ジュニア ⑪

★ ①～⑨まではトス前に記入。
★ ⑩～⑬はトス後に記入。

サービスチーム側はSに×をつけ、もう一方のチーム側はRに×をつける。

枠中に×をする。

西暦で記入

A、B記入はトス直後に。記録席から見て左がA

福岡県小学生バレーボール連盟 公式記録紙

不当な要求をしたチームに× 成 ver-1.1

開始 13:05 チーム 白ジュニア(A) ⑫ 対戦チーム名はトス (S) (R) (B) 赤ジュニアチーム 終了 13:49

サービス順	I	II	III	IV	V	VI	得点
先発メンバー	4	1	3	2	5	6	
番号							
競技者							
交代							
得点							

サービスの 1回目 5回目 2回目 4回目

両チームのスタメン番号を記入。

相手の反則による得点には斜線を引き○で囲む。

得点(斜線)されなかった数字は△で消す。

得点の斜線は右上から左下に引く。(////)

最終得点は

制 裁 不当な要求 チーム(A) チーム(B)

警告	反則	退場	失格	A	B	セット	得点
D				A	1	1	8:5
	D			A	1	1	11:9
		4		B	2	2	5:6

制裁を受けたチームの得点を左側、相手チーム得点を右側に記入。

BチームのNo4選手のタッチネットとアドバンテージによる反則はタッチネットの得点時を記入。

N...競技者番号 M...マネージャー
C...監督 D...遅延の罰則
AC...コーチ H...部長

チーム 赤ジュニア(B) 対戦チーム (S) (R) (A) 白ジュニアチーム 終了 13:49

サービス順	I	II	III	IV	V	VI	得点
先発メンバー	1	2	3	4	5	6	
番号							
競技者							
交代							
得点			8				

第2セット

サービスの 1回目 5回目 2回目 4回目 3回目 6回目

要求したチームの点数を左側に記入する。

スタメンが再びコートに戻った場合は下の数字に○をする。

相手のイエローカードによる反則で(アドバンテージによる)得た得点には、斜線を引き○で囲む。(6点目、タッチネットによる得点・7点目イエローカード得点)

審判役員とサイン

審判	氏名	都道府県	サイン
主審			試合前に記入
副審			試合後サイン
記録員			
線審			
キャプテン			

主審・副審は試合終了後、記録員の集計完了後、必ず記録チェックを行ってから、サインする事。

試合前のチームサイン欄

試合終了後の両キャプテンサイン欄

コートチェンジ時の得点を記入する。

開始 13:52 チーム 赤ジュニア(B) 対戦チーム (S) (R) (A) 白ジュニアチーム 終了 14:08

サービス順	I	II	III	IV	V	VI	得点
先発メンバー	1	2	3	4	5	6	
番号							
競技者							
交代							
得点							

第3セット

サービスの 1回目 4回目 2回目 5回目 3回目 6回目

この数字は△で消さない。

サービスをやっていない場合で最終得点の場合、レ印は入れずにゲーム終了得点を記入して○で囲む。

コートチェンジコート

チーム	I	II	III	IV	V	VI	得点
(B) 赤ジュニア	1	2	3	4	5	6	
コートチェンジ時							
得点							

コートチェンジ時の得点に縦線を引き、その下にアン

ここは転記しない

例

【特記事項】

チーム名

氏名

監督

監督 ⑩

勝利チーム 白ジュニア 2:1

例 サーブが続いている時点でのコートチェンジ時はレ印のみで得点は記入しない、レ印のみ→右へ転記して

コートチェンジ前の要求(タイムアウトや競技者交代)は

所要時間は開始時刻と終了時刻から計算して記入、セット合計+セット間と合わないときは、